

令和3年度 調布市立第五中学校 学校評価報告書（学校長 小坂 力）

学校の教育目標

「徳」思いやりと助け合う心をもとう。「知」自ら学ぶ人になろう。「体」心と体を鍛えよう。

目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像

「生徒一人一人に居場所があり、安心・安全で自分の力を伸ばせる学校」を目指す。

生徒の在籍数は「命の数」である。生徒一人一人の命に「生きる力」を育むことが、調布市立学校の使命と捉えているからである。

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>

	1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
自己評価	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組
	① 「話を聴く」「聴きあえる集団」	① 五中授業スタイルの確立	① 体育大会・合唱コンクール等
	② 週1回の学校いじめ対策委員会	② 調布中・七中との研究授業の実施	② 健康・安全教育の充実
	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)
	① 学校が楽しい	① 意欲的に授業へ取り組んでいる	① 学校行事は楽しく充実している
	② いじめの解消	② 授業は分かりやすく参加しやすい	③ 環境整備は行き届いている
学校関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校へ楽しく通えているとの肯定的な回答が多く、生徒たちの心の安定が推測される。</li> <li>自身を分析し自分を知ることは大切だが、実際にどれだけの生徒にその力があるかが重要だ。</li> <li>いじめ問題については、今後も継続的に対応をお願いしたい。</li> <li>週1の学校いじめ対策委員会により、早期発見・早期解決することにより、学校が楽しくいじめの解消につながっていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加しやすく、分かりやすい授業であり、生徒からの質問への教師の対応も高評価であり、感心する。</li> <li>生きていける学びが基本と思う。生徒自身が自分の長所、良いところを見つけて将来に生かせるようにしたい。</li> <li>子供たちが意欲的に取り組める環境を教師が努力しており素晴らしい。</li> <li>講師を招いた授業研究などの取組みにより、生徒が授業に意欲的に参加しやすくなると感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事が安全に行われ、生徒間が団結することの満足感が伺える。</li> <li>学校は楽しいに通じる。自分の健康は自分でコントロールできる基礎を身に付けてほしい。</li> <li>コロナ禍で仕方ないが行事は保護者の参観ができるという。</li> <li>体育大会、合唱コンクールなどのクラス全体のイベントは、団結力やコミュニケーション能力を育むことのできる大切な行事である。</li> </ul>

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>

	4 オリンピック・パラリンピック教育の推進	5 地域人材等との特別支援教育の推進	6 生涯を見通した「キャリア教育」
自己評価	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組
	① 通級指導と連携した障害者理解等	① 「うみなみ教室」の設置による個別支援	① マイキャリアノートの作成
	② 地域と協働によるボランティア活動の充実		
	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)
	① 違いを認め合える実感をもつ	① 750名の「学びの保障」	① マイキャリアノートの活用
	② ボランティアマインドの育成		
学校関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>受け入れる環境が多く、理解と気配りが常にあることを願う。</li> <li>目に見えること、見えない部分も含め互いを認め合う。外部の導入も考えていいと思う。</li> <li>生徒達が地域にも意識を向けるような取組は継続してほしい。</li> <li>障害者理解や国際感覚の向上を目指すことは、これからの子供たちにとって大切なことである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々に応じた学びが保証されることは、とても大切でいいことと思う。</li> <li>今後も個別支援は必要不可欠である。</li> <li>個別支援のできる教室の設置があることにより、支援の必要な生徒にとってはありがたい教室である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路について、選択肢が広がっていきける環境を期待する。</li> <li>実施した部分のイメージを共有したい。</li> <li>生涯を見通したキャリア教育のためには、話をするのが苦手な生徒にとっては、ノートの活用は実用的である。</li> </ul>

人材育成・組織運営

自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームによるOJTの活性化</li> <li>主幹教諭の管理職としての資質向上(毎朝の主幹会や喫緊課題の解決を通して)</li> <li>適材適所の配置により、意欲と達成感をもたせ、主任教諭の学校運営意識の向上を図り、主幹教諭へ昇任させる。</li> <li>支援・応援・指導し、全教職員の職務内容や教育実践を実現させ、生徒のために自立した教職員へ育成する。</li> </ul>
学校関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日コロナ対策で大変かと思うが、中学校の3年間は早くも社会に出ていく大切な時だと思う。五中生でよかったと思える学校生活に期待する。</li> <li>教員一人一人の負担を軽減するには、管理職の責任の重さとリーダーシップが問われる。</li> <li>生徒のために自立した教職員の育成に期待する。</li> <li>生徒や保護者は昔とは変わっており、時代に合った教育が求められる。</li> </ul>

中期的な経営目標の達成状況

概ね良好。今後の一層の教育の質の向上に期待している。

次年度の重点課題

これからの社会で活躍する生徒の育成のための、心の教育の充実、授業改善及び個別支援の充実。

